



令和7年度

学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

12月25日発行 No.11

小金井市前原町3-4-22

TEL 042-383-1146

FAX 042-382-2046

HP: <https://www.maehara.school>

力強く駆け、対話を深め、未来を創る新年に

校長 小柳 政憲

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ令和8年が幕を開けました。今年の干支は「午（うま）」です。馬は、古くから力強く大地を蹴り、未来に向かってまっすぐに、そして活発に駆け抜ける姿から、物事の発展や飛躍を象徴する縁起の良い動物とされています。「良い運気に乗って勢いよく進む」という意味も込められています。本校の子供たちも、この「午」のように、学校生活の中で友達と活発に意見を交わし、互いに刺激し合いながら、自らの目標に向かって力強く成長してくれることを願っています。

変化の激しい現代社会において、子供たちが将来出会うであろう社会は、私たちが経験してきたものとは比べ物にならないほど多様化し、予測困難なものとなるでしょう。特に近年、教育現場においても「生成AI（人工知能）」という言葉が現実のものとして浸透してきました。テキストや画像を瞬時に生成するこの革新的な技術は、私たちの生活や働き方だけでなく、「学び」のあり方そのものを根本から変えようとしています。

情報や知識を「覚える」ことの価値が相対的に変化する時代だからこそ、本校では、AIにはできない、人間ならではの「考える力」「判断する力」、そして「他者と協働する力」の育成が不可欠であると考えています。

そのために今、本校が最も力を入れているのが「活発な対話を引き出す授業づくり」です。単に知識をインプットするだけでなく、子供たちが授業の中で自分の考えをしっかりととどめ、それを自分の言葉で表現し、友達と思いを伝え合い、意見を深めていくプロセスを大切にしています。対話を通じて多様な価値観に触れ、新たな気付きを得るという経験こそが、複雑な未来を生き抜くための確かな力となると信じています。

来る2月には、本校が市の研究奨励校として取り組んでまいりました、この「活発な対話を引き出す授業づくり」の研究発表会がございます。子供たちが主体的に学びに向かう姿、生き生きと意見を交わす姿は、まさに干支の「午」が大地を駆け抜けるような躍動感に満ちています。この研究発表会が、本校の子供たちの学びの「蹄（ひづめ）」で未来を切り拓いていく確かな一歩となり、さらには生成AI時代の新たな教育の可能性を探る一助となれば幸いです。

本年も、子供たち一人一人の豊かな学びと健やかな成長のため、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の引き続きの温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。